

For New Technology Network

**NTN**<sup>®</sup>

株主の皆様へ

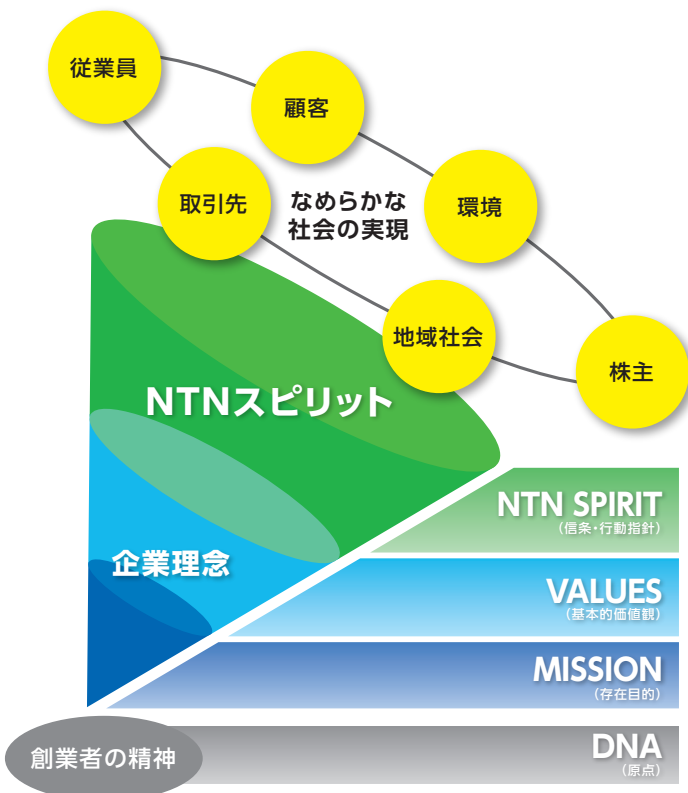
# 第120期 中間報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで

**NTN株式会社**

証券コード6472

## 当社の企業理念体系



### 企業理念

新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する  
**For New Technology Network**  
 —新しい技術で世界を結ぶ—

- 1 独創的技術の創造
- 2 客先及び最終消費者に適合した付加価値技術及びサービスの提供
- 3 着実な業績の伸長の下での社員の生活向上、株主への利益還元、社会への貢献
- 4 グローバリゼーションの推進と国際企業にふさわしい経営・企業形態の形成

### NTNスピリット

#### 信条

##### 挑戦



開拓者精神で挑戦することで、芽が出る

- 現状に満足することなく、熱意をもって挑戦します。
- 現地・現物を重視し、あらゆる変化に素早く対応します。
- 自ら考え、自ら行動し、成長し続けます。

##### 協働



共存共栄精神で協働することで、葉が育ち

- お互いの違いを受け入れ、尊重し合います。
- すべての仲間と助け合い、誠実に仕事をします。
- 自然環境を大切に、地域社会と共生し続けます。

##### 約束



私たちの約束を果たすことで、花や実をつける

- 安全を第一に、最高の品質を目指して仕事の「質」を高めます。
- お客様に満足を超えた感動をお届けする最強のパートナーになります。
- 仕事を通じて、世界中の人々のより良い生活を支え続けます。

## 目次

ごあいさつ	02	連結財務諸表	11
トップインタビュー	03	トピックス	13
セグメント別の概況	07	会社情報・株式情報	14
事業形態別の概況	09		

### 見通しに関する注意事項

本報告書には、NTNの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は本報告書で述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

## ごあいさつ

### 株主の皆様へ

株主の皆様には益々ご清栄のことと  
拝察申し上げます。平素は格別のご高配を  
賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の第120期(平成30年度)  
中間報告書をお届けいたします。

株主の皆様には今後ともご支援と  
ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い  
いたします。

代表取締役社長

大久保博司



## トップインタビュー

### Q 当第2四半期の経営成績についてお聞かせください。

**A** 当第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）における日本経済は、雇用・所得環境の改善等から、緩やかな回復が続きましたが、一部で相次ぐ自然災害による経済への影響がありました。海外においては、通商問題による懸念や先行き不透明感がありますが、米国経済は堅調に推移し、欧州経済も緩やかな回復が続きしました。また、中国経済は米国との貿

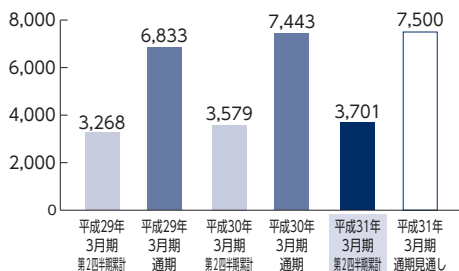
易摩擦等の影響により成長に翳りが見られましたが、その他新興国経済では、緩やかな回復の動きが見られました。

このような環境のもと、当社グループは本年4月にスタートした3年間の中期経営計画「DRIVE NTN100」において、最新デジタル技術と当社グループが培ってきた経営資源を融合させ、「革新的な技術・商品・サービスの開発」、「調達改革」、「生産性と品質の追求」、「資産効率の向上」を図ります。これらの実現のための諸施策を推し進め、事業構造の変革を加速させてまいります。

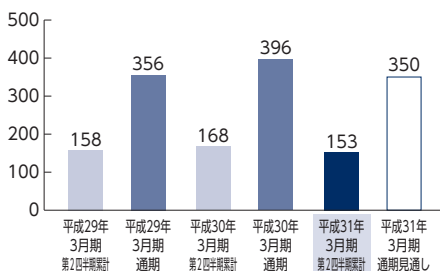
当第2四半期連結累計期間の売上高は、370,187百

## 決算ハイライト

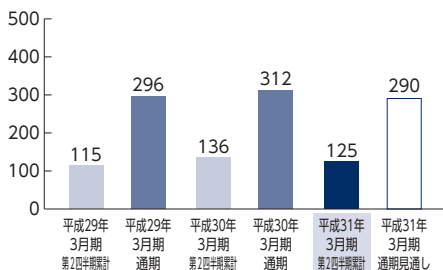
### ● 売上高 (億円)



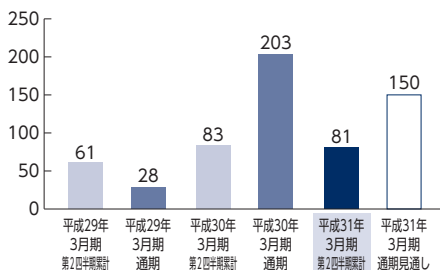
### ● 営業利益 (億円)



### ● 経常利益 (億円)



### ● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



### 🔊 当期の配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要方針の一つと考えております。配当につきましては、将来の成長のために必要な研究開発や設備投資等の資金を確保し、中長期的な視点から安定的に継続しつつ、経営成績に応じて実施することを基本方針といたします。具体的にはキャッシュ・フローの状況を勘案のうえ、連結配当性向を重視し決定することにしております。当中間配当金につきましては、上記の基本方針を踏まえ総合的に勘案しました結果、1株につき7.5円とさせていただきます。

#### 配当金の推移 (円)



万円（前年同期比3.4%増）となりました。損益につきましては、営業利益は15,376百万円（前年同期比8.6%減）、経常利益は12,550百万円（前年同期比8.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,140百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

## Q 新中期経営計画「DRIVE NTN100」の進捗について教えてください。

A 当社は、本年3月に創業100周年を迎え、次の100年においても持続的に成長するために、当社の企業理念である「新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する」企業であり続けたいと考えています。

当社グループを取り巻く外部環境として、自動車における電動化や自動運転技術の進展、産業界全般におけるIoTや人工知能（AI）の実用化、ロボット化等、大きな変化が起きています。当社グループ



は、新しい100年に向けた10年後の長期ビジョンとして、新たな領域に対して既存商品と新商品の双方で価値を提供できる事業構造に変革し、売上高1兆円以上、営業利益率10%以上、総資産回転率1.0回転以上、更に為替変動による利益への影響を現状から半減させることを目標としています。

この長期ビジョン達成のため、本年4月から3年間の新たな中期経営計画「DRIVE NTN100」（DRIVE NTN Transformation for New 100：新しい100年に向けた変革を加速する）に取り組んでいます。最新デ

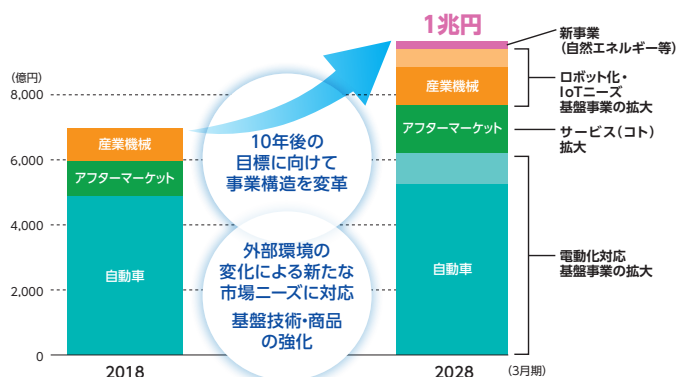
## 10年後の目標 「もの造り企業」から 「モノとコトを通じて顧客へ価値を届ける企業」へ

### 外部環境の変化

**自動車産業**  
100年に一度の変化（CASE）  
**産業界全般**  
IoT、ロボット化、AI  
**社会的課題**  
人口増加、気候変動、資源枯渇  
貧困・飢餓など（SDGs）

### 数値目標

売上高	1兆円以上
営業利益率	10%以上
総資産回転率	1.0回転以上
為替感応度	現状から半減

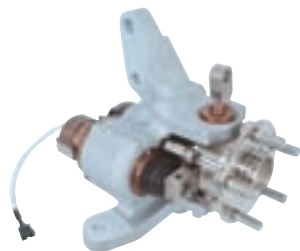


## トップインタビュー

デジタル技術と当社グループが培ってきた経営資源を融合させ、「革新的な技術・商品・サービスの開発」、「調達改革」、「生産性と品質の追求」、「資産効率の向上」を目指しています。これらの実現のため次の3つの重要施策を推し進め、事業構造の変革を加速させてまいります。

### 1) 新領域の展開

自動車市場における電動化や自動運転、産業機械市場におけるIoTの普及やロボット化、AIの活用等の新しいニーズに対応した革新的な技術・商品・サービスの開発・提供を加速しています。長年開発を続けてきた**インホイールモータシステム**は、本年4月に中国の電気自動車メーカーと技術ライセンス契約を締結し事業化を進めています。本年5月にはハブベアリングにステアリングの補助機能を搭載した**sHUB（エスハブ）**を開発しました。車速やハンドル操作に連動して車輪の転舵角度を制御することで、車両の姿勢安定化と燃費改善に貢献します。お客様の生産現場に向けては、人間の手首と同じなめらかな動きを高速で再現できる手首関節モジュール**i-WRIST™**の量産を開始します。



sHUB



i-WRIST™



i-WRIST™にカメラを装着した場合、商品のキズや部品の欠落等を確認する目視検査の代替が可能で、生産現場の自動化や省人化の実現と、生産性や品質の更なる向上に貢献できます。また、昨年、大阪大学に設立したNTN次世代協働研究所等の産学連携による社内外の技術・アイデアの融合の促進等を図り、新技術・新商品の開発を加速してまいります。

### 2) 基盤技術・商品の強化

低フリクションや軽量化等の今後も変わらない自動車市場のニーズに対して、世界シェアNo.1を誇るハブベアリングと、世界シェアNo.2のドライブシャフト等で、駆動領域におけるトップメーカーを目指しています。本年5月、自動車の前輪用ドライブシャフトとして、高効率で世界最高の最大作動角55°を実現した**CFJ-W**を開発しました。近年ますます人気が高まる

SUVや4WD車の最小回転半径の縮小や燃費改善等、お客様の要望に貢献してまいります。また、本年10月にCAE開発研究所を設立しました。CAE技術※の更なる活用によって設計・実験の業務効率を向上させ、お客様対応を迅速化させてまいります。産業機械市場におけるロボット用減速機や風力発電、航空・宇宙等の今後も高い成長が期待できる分野においては、長寿命や耐摩耗性能等の高機能商品を展開することで事業を拡大してまいります。また、本年8月からドイツのNTN Mettmann (Deutschland) G.m.b.H.で工作機械向け精密軸受の量産を開始しました。グローバルで供給能力を拡大し、リードタイムの短縮とサービスの向上によって新たなお客様を獲得してまいります。

※CAE(Computer Aided Engineering)技術は、製品、周辺構造案が要求性能を満たすことを、コンピュータ上でシミュレーションすることにより検証する技術です。

### 3) 事業を支える経営基盤の強化

競争環境の変化に打ち勝つため、強固な経営基盤の構築に取り組んでいます。本年4月に調達本部を設置し、調達改革を進めています。地域内における現地調達と地域間における最適地調達の推進、発注の集約化と価格管理の強化を図るとともに、品質やコスト、納期、コンプライアンス等でサプライヤーを総合的に評価する仕組みとルールを整備します。製造部門ではIoT、AI、ロボットを活用し、間接部門ではRPAの導入により、それぞれ人件費の抑制に取り組んでいます。来年6月からボールベアリングの量産を開始する予定の和歌

山製作所(仮称)をはじめ、製造部門におけるスマートファクトリ化を推進します。更に、新基幹ITシステムを活用したサプライチェーン管理体制の強化に取組み、グローバルで効率的な棚卸資産の保有と、受注から納品までのリードタイム短縮を図ってまいります。また、本年10月にEHS(環境・労働安全衛生)統括部を設置し、世界的に関心が高まる環境(Environment)、健康・衛生(Health)、安全(Safety)分野での取組みを一体的に推進してまいります。

当社グループは、新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献するため、法令・規則の遵守、公正・誠実を基本に、以上の諸施策を実施することにより経営基盤の一層の強化と業務の効率化に努め、収益向上に邁進してまいります。株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 通期の業績見通し

(億円)

	当期(見通し) 平成31年3月期	前期(実績) 平成30年3月期
売上高	7,500	7,443
営業利益	350	396
営業利益率	4.7%	5.3%
経常利益	290	312
親会社株主に帰属する 当期純利益	150	203



## セグメント別の概況

日本

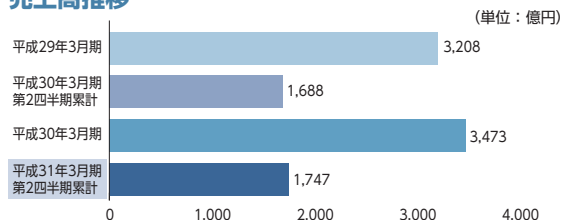
平成31年3月期  
(第2四半期累計)

売上高 **1,747** 億円

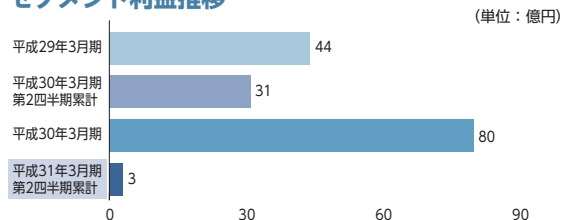
セグメント別  
売上高構成比  
**39.0%**

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向けで増加しました。産業機械市場向けは建設機械向けや工作機械向け等で増加し、自動車市場向けも客先需要の拡大等により増加しました。この結果、売上高は174,755百万円(前年同期比3.5%増)となりました。セグメント利益は販売増加の効果等はありませんでしたが、鋼材価格の上昇、固定費の増加等により394百万円(前年同期比87.6%減)となりました。

### 売上高推移



### セグメント利益推移



### 主な施策

- アフターマーケット事業の新販売体制の構築
- 和歌山県にラジアル軸受の生産を行う「和歌山製作所(仮称)」を新設 等

米州

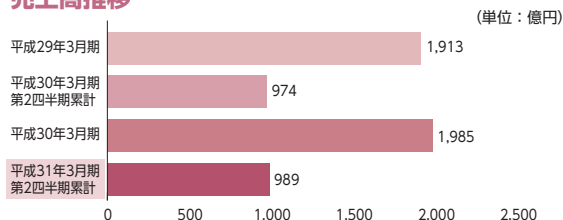
平成31年3月期  
(第2四半期累計)

売上高 **989** 億円

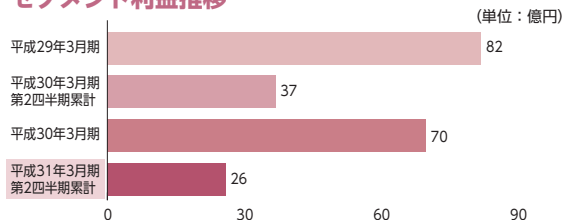
セグメント別  
売上高構成比  
**22.1%**

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向け、及び自動車補修向けとも増加しました。産業機械市場向けは風力発電向け等で増加し、自動車市場向けは客先需要の拡大等により増加しました。この結果、売上高は98,941百万円(前年同期比1.6%増)となりました。セグメント利益は販売増加の効果等はありませんでしたが、鋼材価格や関税率の上昇、固定費の増加等により2,626百万円(前年同期比29.1%減)となりました。

### 売上高推移



### セグメント利益推移



### 主な施策

- NTK Precision Axle Corp. 第2工場での量産開始
- オートパーツの品揃え拡大 等



## 欧州

平成31年3月期  
(第2四半期累計)

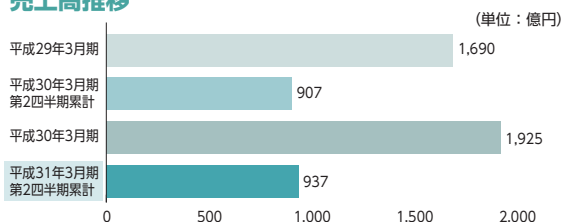
セグメント別  
売上高構成比  
**20.9%**

売上高

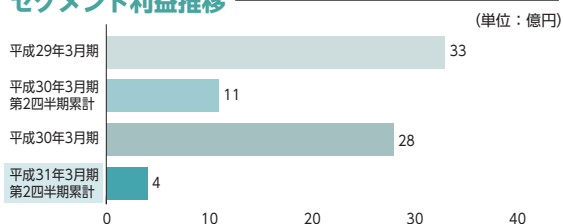
**937** 億円

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向けで増加しました。産業機械市場向けは航空機向け等で増加しましたが、自動車市場向けは客先需要の低減等により減少しました。全体としては、売上高は93,788百万円(前年同期比3.3%増)となりましたが、セグメント利益は固定費の増加等により464百万円(前年同期比60.7%減)となりました。

### 売上高推移



### セグメント利益推移



### 主な施策

- NTN Mettmann (Deutschland) G.m.b.H.での工作機械向け精密軸受の量産開始
- 代理店ネットワークを活用した販売促進 等

## アジア他

平成31年3月期  
(第2四半期累計)

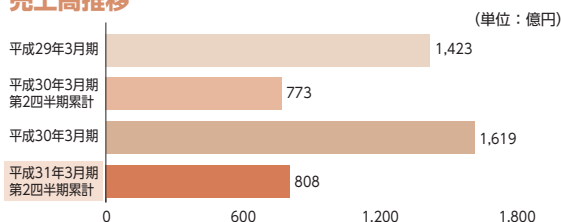
セグメント別  
売上高構成比  
**18.0%**

売上高

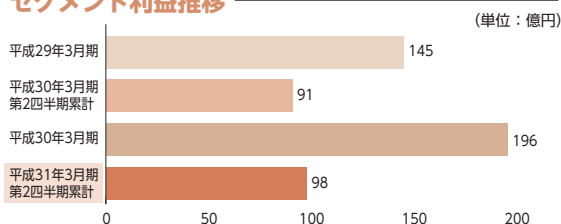
**808** 億円

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向け、及び自動車補修向けとも増加しました。産業機械市場向けは建設機械向け等で増加し、自動車市場向けは客先需要の拡大等により増加しました。この結果、売上高は80,870百万円(前年同期比4.5%増)となり、セグメント利益は販売増加の効果等により9,805百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

### 売上高推移



### セグメント利益推移



### 主な施策

- 中国FSAT社とのインホイールモータ駆動システムに関する技術ライセンス契約締結
- 風力発電装置向け販売の拡大 等

\*上記のセグメント情報には、セグメント間の取引が含まれております。

## 事業形態別の概況

### 補修市場向け

#### 販売増加の効果等で増収増益

産業機械補修向けの増加等により売上高は61,075百万円(前年同期比8.6%増)となりました。営業利益は販売増加の効果等により7,846百万円(前年同期比14.6%増)となりました。



産業機械、自動車のメンテナンスニーズに対応するさまざまな商品を提供しています。商品の納入後も、技術講習会の開催等でお客様の設備の生産性向上と安定稼働をサポートしています。

#### オートパーツ



複数のベアリングを組み合わせたパーツキット

#### 鉄鋼設備 向け



密封形四列円すいころ軸受

#### 製紙機械 向け



ULTAGE自動調心ころ軸受 EAタイプ・EMタイプ

#### 技術講習



テクニカル・サービスカーを活用した技術講習会

### 産業機械市場向け

#### 販売増加の効果等で

建設機械向けや風力発電向け等の客先需要の拡大等により売上高は61,960百万円(前年同期比8.1%増)となりました。営業利益は販売増加の効果等により1,643百万円(前年同期比98.4%増)となりました。

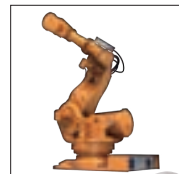
建設機械や変速機、農業機械、風力発電装置、航空・宇宙、鉄道車両等さまざまな産業機械分野で、低トルク化、小型・軽量化とともに軸受による環境負荷低減を推進しています。

#### 建設機械 向け



資源採掘や土木建設で活躍

#### 変速機 向け



ロボットの高い生産性を支える

#### 農業機械 向け



安定した食料供給に貢献

#### 風力発電装置 向け



高まる再生可能エネルギーの需要に対応

#### 航空・宇宙 向け



世界のジェットエンジンに採用

#### 鉄道車両 向け



世界の高速度鉄道の安全を支える

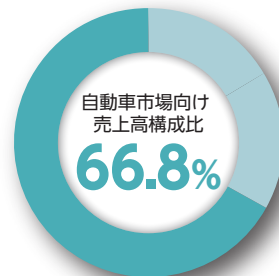
## 増収増益



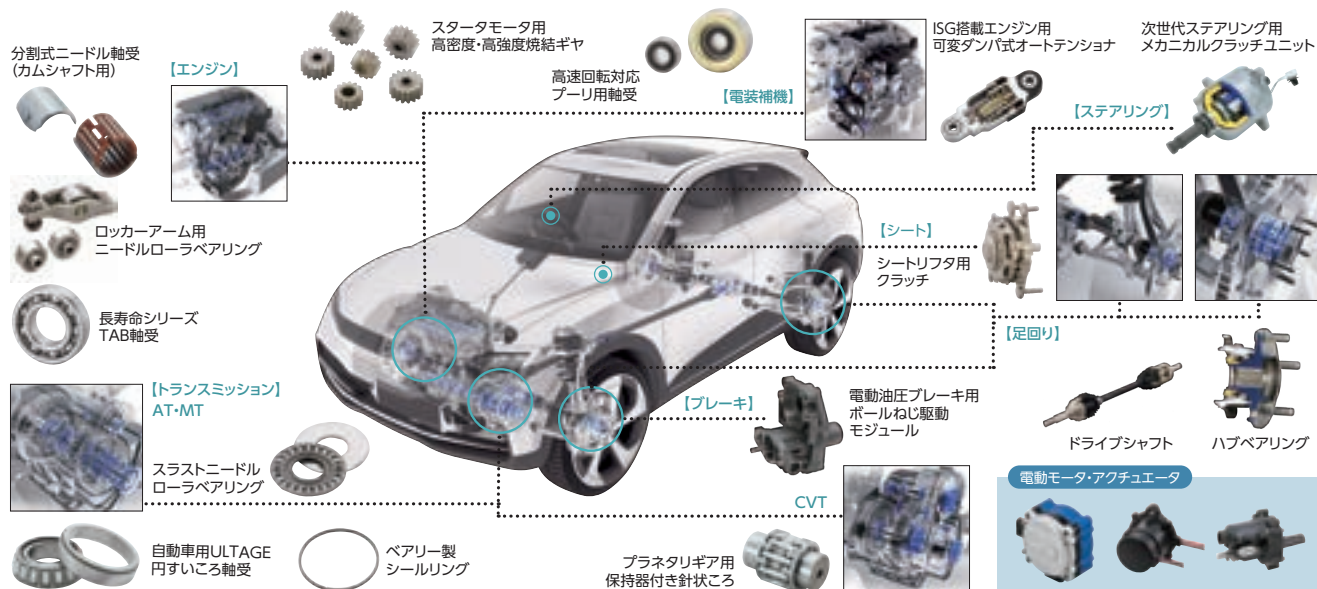
## 自動車市場向け

### 固定費の増加等により減益

客先需要の拡大や為替の影響等により売上高は247,151百万円(前年同期比1.1%増)となりました。営業利益は販売増加の効果等はありませんでしたが、鋼材価格や米国における関税率の上昇、固定費の増加等により5,886百万円(前年同期比35.7%減)となりました。



基盤商品の高機能・高付加価値化とともに、モジュール商品の開発を推進しています。さらに、自動車の電動化、自動運転に向けて「電動モータ・アクチュエータ」をシリーズ展開しており、自動車の低燃費化や乗り心地の向上といった従来のニーズならびに急速に進む電動化のニーズにも対応しています。



\*構造を見やすくするため、一部商品はカットした写真を掲載しています。

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (平成30年9月30日)	前期 (平成30年3月31日)	科目	当第2四半期 (平成30年9月30日)	前期 (平成30年3月31日)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	460,512	451,725	流動負債	301,793	316,425
現金及び預金	89,727	88,683	支払手形及び買掛金	62,594	69,716
受取手形及び売掛金	134,706	143,692	電子記録債務	63,651	64,112
電子記録債権	9,937	5,744	短期借入金	114,070	118,932
商品及び製品	104,052	96,468	未払法人税等	3,210	3,887
仕掛品	55,329	49,478	役員賞与引当金	88	176
原材料及び貯蔵品	37,965	33,791	その他	58,176	59,600
短期貸付金	72	76	固定負債	278,034	253,241
その他	29,719	34,798	社債	30,000	30,000
貸倒引当金	△998	△1,008	長期借入金	196,317	171,900
固定資産	398,666	387,701	製品補償引当金	1,561	1,491
有形固定資産	293,002	288,059	退職給付に係る負債	40,811	40,393
建物及び構築物(純額)	85,156	82,981	その他	9,344	9,456
機械装置及び運搬具(純額)	143,541	143,246	負債合計	<b>579,827</b>	<b>569,667</b>
その他(純額)	64,303	61,831	<b>(純資産の部)</b>		
無形固定資産	29,170	25,044	株主資本	253,554	249,387
投資その他の資産	76,493	74,598	資本金	54,346	54,346
投資有価証券	61,520	59,233	資本剰余金	67,970	67,970
繰延税金資産	11,491	11,881	利益剰余金	132,039	127,886
その他	3,717	3,719	自己株式	△802	△816
貸倒引当金	△235	△236	その他の包括利益累計額	8,758	4,015
資産合計	<b>859,179</b>	<b>839,427</b>	その他有価証券評価差額金	18,820	16,380
			為替換算調整勘定	△2,062	△4,681
			退職給付に係る調整累計額	△7,999	△7,683
			非支配株主持分	17,038	16,356
			純資産合計	<b>279,351</b>	<b>269,759</b>
			負債純資産合計	<b>859,179</b>	<b>839,427</b>

「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を適用し、表示しております。

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) [平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで]	前第2四半期(累計) [平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで]
売上高	370,187	357,935
売上原価	302,464	292,636
<b>売上総利益</b>	<b>67,722</b>	<b>65,298</b>
販売費及び一般管理費	52,346	48,470
<b>営業利益</b>	<b>15,376</b>	<b>16,828</b>
<b>営業外収益</b>	<b>2,463</b>	<b>3,204</b>
受取利息	378	303
受取配当金	655	623
持分法による投資利益	215	206
為替差益	—	1,103
その他	1,213	969
<b>営業外費用</b>	<b>5,289</b>	<b>6,391</b>
支払利息	1,898	1,969
デリバティブ評価損	1,107	1,472
その他	2,283	2,949
<b>経常利益</b>	<b>12,550</b>	<b>13,641</b>
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>12,550</b>	<b>13,641</b>
法人税等	3,476	4,325
<b>四半期純利益</b>	<b>9,074</b>	<b>9,315</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	933	934
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>8,140</b>	<b>8,381</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) [平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで]	前第2四半期(累計) [平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,116	32,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,395	△19,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,821	△5,330
現金及び現金同等物に係る換算差額	△933	716
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	1,608	7,634
現金及び現金同等物の期首残高	86,087	79,284
現金及び現金同等物の四半期末残高	87,696	86,918

## ホームページのご案内

NTNのホームページでは、企業情報や決算情報を豊富に掲載しています。最新のトピックスを随時更新し、CSR活動への取組みや技術関連情報の紹介など、幅広い内容となっています。NTNをより深くご理解いただくため、ぜひご覧ください。

<https://www.ntn.co.jp>



## 「NTNレポート2018」を 発行しました。

すべてのステークホルダーのご理解とご支援を賜ることが重要であると考え、経営計画や業績に加えて、CSR活動、環境保全への取組みなどを日英二カ国語で積極的に開示しています。



## トピックス

生産現場の  
自動化・省人化ニーズに貢献

# 手首関節モジュール i-WRIST™

生産現場ではこれまで人手に頼ってきた繊細な作業についてもロボットが代替する動きが急速に拡大すると予想されています。

NTNは、このようなニーズに対して、手首関節モジュール「i-WRIST™」を提案します。

- 特長**
- ① 様々な角度&狙った位置に高速制御
  - ② 広い可動範囲、でも省スペース
  - ③ 高い操作性で段取り替え時間を短縮

NTNは、本商品をグローバルかつ多用途に展開し、生産現場の生産性や品質のさらなる向上に貢献してまいります。

### 関連するSDGs

レジリエントなインフラを整備し、包括的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



### 「i-WRIST™」とは

「intelligent」(知性のある)、「innovative」(革新的な)、「interesting」(興味を起こさせる)などの意味を含めた「i」と、手首の「WRIST」を組み合わせて名付けました。

### 用途例

液剤塗布

0.1 秒/点以下

外観検査

秒速7ポイント超

※速度は対象物の形状/サイズ等の条件によります。

### その他の用途展開

- 溶接・塗装・洗浄・組立等の人手作業の代替用途



動作デモの様子を、動画でご覧いただけます。



## 基盤事業で培った独自技術を活用し、新領域へ生かす

2000年初

現在

将来



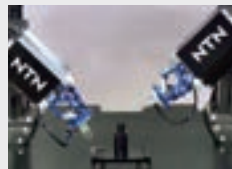
リンク機構を用いた  
高角度等速ジョイント



グリーンス塗装



外観検査



ロボット手首関節モジュール



AI搭載ロボットハンドシステム

「i-WRIST™」は、自動車用等速ジョイントの開発の中で生まれた技術を応用して開発された製品です。NTNでは、技術提案を進める中で、用途に応じた改良を重ねてきました。

# 会社情報

## ■ 当社の概要 (平成30年9月30日現在)

社名	NTN株式会社
商標	<b>NTN</b>
創業	1918年3月
設立	1934年3月
資本金	543億円
従業員	5,381名(連結:25,515名)
事業内容	軸受、ドライブシャフト、 精密機器商品等の製造及び販売

## 株式情報

### ■ 株主数及び株式数 (平成30年9月30日現在)

- 株主数..... 38,666名
- 発行済株式数..... 532,463,527株

### ■ 大株主 (平成30年9月30日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率** (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	45,085	8.48
第一生命保険株式会社	23,278	4.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	23,199	4.36
明治安田生命保険相互会社	22,467	4.22
株式会社三菱UFJ銀行	21,674	4.07
NTN共栄会	13,233	2.48
日本生命保険相互会社	9,206	1.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	8,697	1.63
三菱UFJ信託銀行株式会社	8,309	1.56
野村信託銀行株式会社(投信口)	7,106	1.33

※持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

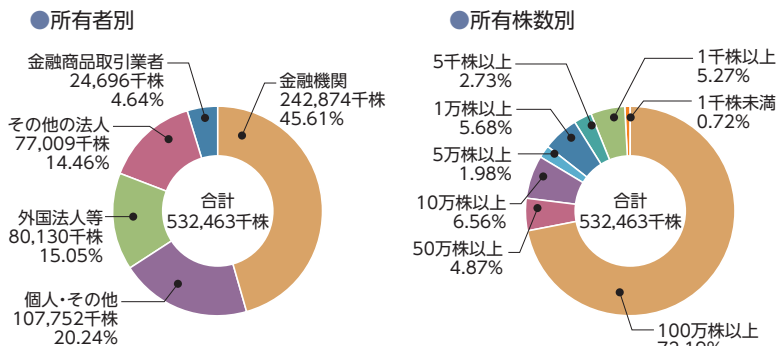
## ■ 役員 (平成30年9月30日現在)

取締役社長 (代表取締役)	大久保 博 司	常務執行役員	森 河 夏比古
取締役副社長 (代表取締役)	井 上 博 徳	常務執行役員	十 尾 哲 也
常務取締役	寺 阪 至 徳	常務執行役員	常 龜 高 晃 司
常務取締役	大 橋 啓 二 徳	常務執行役員	江 上 正 樹
常務取締役	宮 澤 秀 彰	常務執行役員	松 尾 隆 之
常務取締役	後 藤 逸 司	執行役員	播 磨 悦
取締役	仲 野 浩 史	執行役員	ピート アイク
取締役	辻 秀 文	執行役員	岡 阪 誠
取締役	梅 本 武 彦	執行役員	アラン ショバン
取締役	白 鳥 俊 則	執行役員	中 溝 栄 一
取締役	川 島 一 貴	執行役員	萩 原 一 樹
取締役	鶴 飼 英 一	執行役員	三 宅 勝 明
*1 取締役	和 田 彰	執行役員	野 々 健 二
*1 取締役	津 田 登	執行役員	上 田 智
*2 常勤監査役	川 原 廣 治	執行役員	山 本 正 明
常勤監査役	井 山 雄 介	執行役員	エルベ ブル口
*2 監査役	加 護 野 忠 男	執行役員	渡 邊 郁 雄
*2 監査役	川 上 良	執行役員	西 口 雅 之
		執行役員	皆 見 章 行
		執行役員	小 森 繁 文
		執行役員	藤 井 隆 吉
		執行役員	小 澤 伸 吉

※1印は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
※2印は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人 EY新日本有限責任監査法人

## ■ 株式分布状況 (平成30年9月30日現在)





# 世界を なめらかに する仕事。

# NTN®

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 事業年度終了後3か月内
- 基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。その他必要あるときは、あらかじめ公告して、基準日を定めます。
  
- 剰余金の配当 3月31日
- 受領株主確定日
- 中間配当 9月30日
- 受領株主確定日
- 公告方法 電子公告  
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載の場合のホームページアドレス  
(<https://www.ntn.co.jp>)
  
- 株主名簿管理人 〒100-8212  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

- 同連絡先 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話（通話料無料） 0120-094-777

- ご注意
1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
  3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。